

2005年 月刊『HOUSING』調べ 注文住宅と住宅設備に関する動向調査

2006年4月4日（火）

株式会社リクルート
住宅ディビジョンカンパニー
ハウジング&リフォームディビジョン
ディビジョン長 巻口隆憲

月刊『HOUSING』では、注文住宅建築者の建築実態を把握するために、「注文住宅と住宅設備に関する動向調査」を毎年実施しています。2005年の傾向がまとまりましたので、経年比較とあわせてご報告いたします。

<< TOPICS >>

- LDKの広さは平均19.9畳。この3年間では増加傾向。
延べ床面積は平均で161.6㎡。昨年より狭くなった。…………… P4
- オール電化住宅の普及度はここ3年間増加を続け、今回は50%を超える。
エコキュートの普及度は、2年前の2.5倍に上昇。…………… P5
- ホームセキュリティの普及度はここ3年間増加を続け、2年前の1.7倍に上昇。
エリア別では、首都圏が最も高く約18%。…………… P6
- 総建築費用のボリュームゾーンは、ここ3年間で
2000万円台後半から2000万円台前半にシフト。…………… P7
- 自己資金額が1000万円未満の割合が、ここ3年間増加傾向。…………… P8

【本件に関するお問合せ先】

http://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

HOUSING

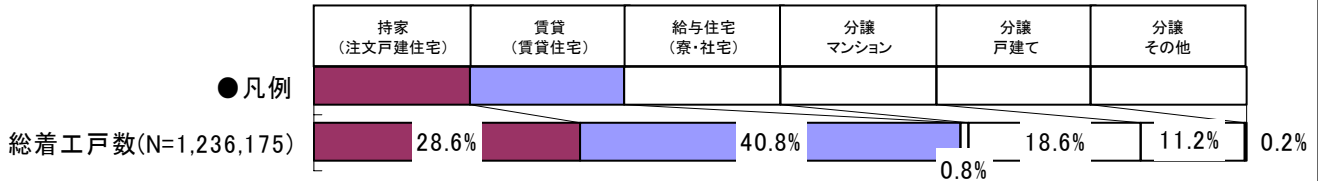
調査概要

- 調査目的 ... 1. 注文住宅と住宅設備に関する計画や購入の実態を把握し、関係各社の参考資料とする
2. 『月刊HOUSING』の今後の編集・企画のための参考資料とする
- 調査対象 ... 『月刊HOUSING』読者で、新築・建て替え済みもしくは住宅メーカー（工務店・建築事務所等を含む）と契約済みの世帯対象
- 調査方法 ... 郵送法（事前にアンケート協力の了承を得られた世帯に発送）
- 調査期間 ... 2005年11月10日～11月21日
- 有効回答数 ... 1. 調査票発送数：1,029票
2. 回収数：835票
3. 集計対象数：791票（有効票回収率76.9%）

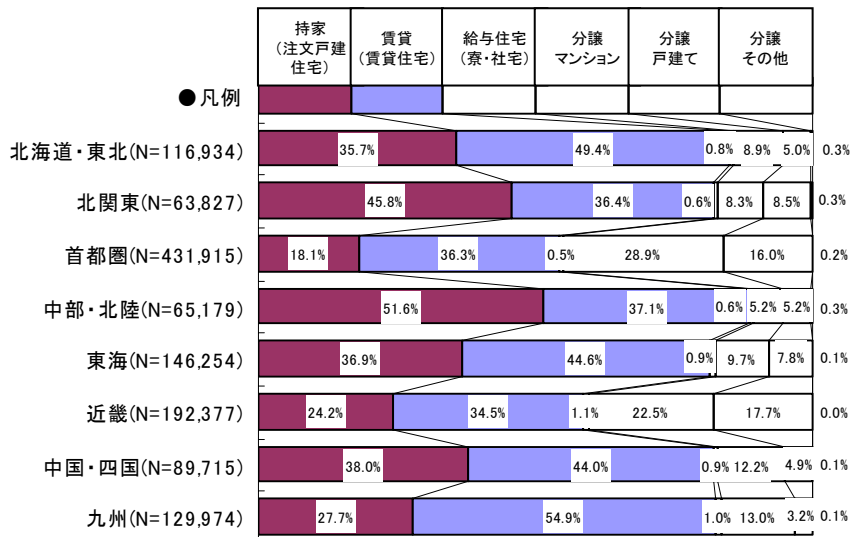
《参考：住宅建築マーケット》

* 国土交通省「住宅着工統計」

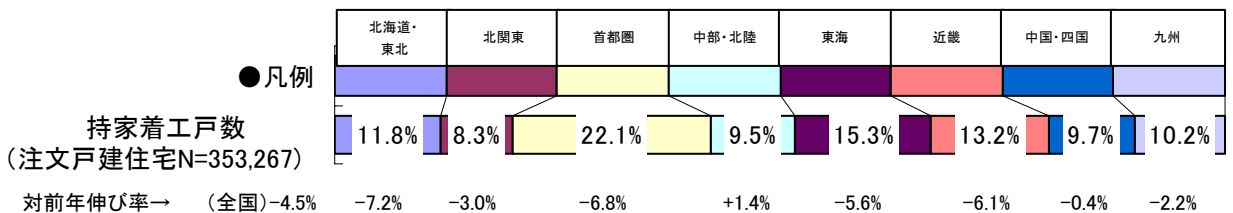
■2005年（1月～12月）新設住宅着工戸数：利用関係別（%）



■新設住宅着工戸数：居住エリア別（%）

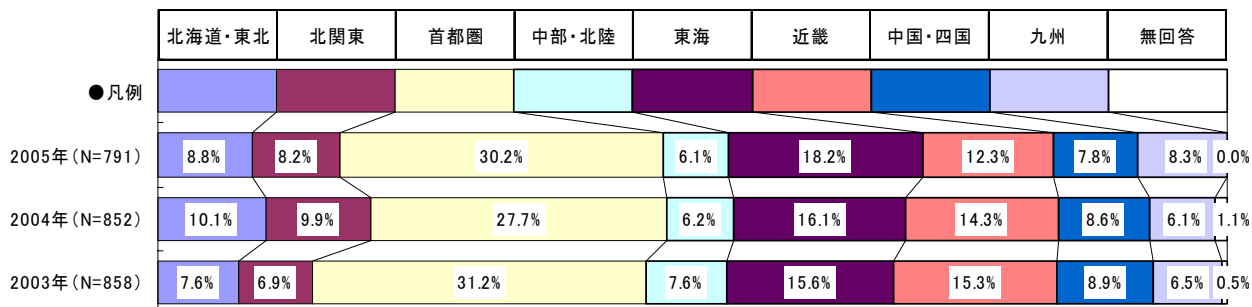


■持家着工戸数：居住エリア別（%）

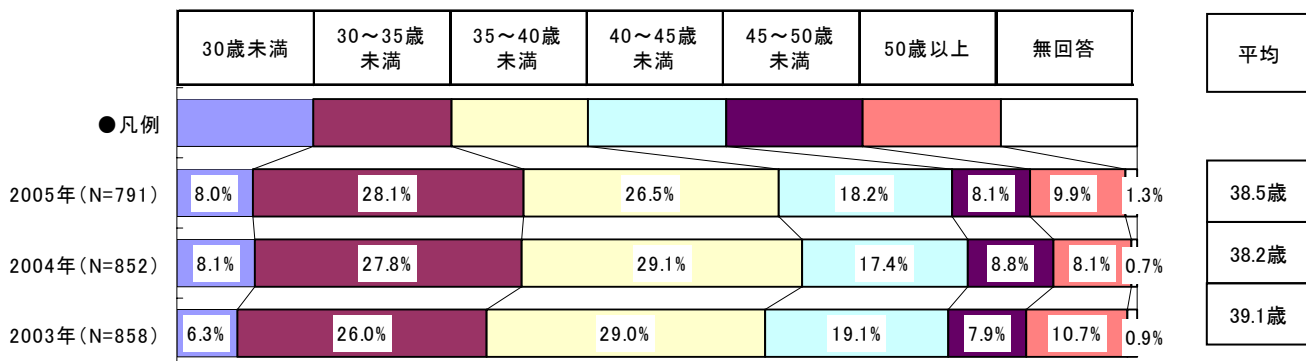


回答者プロフィール

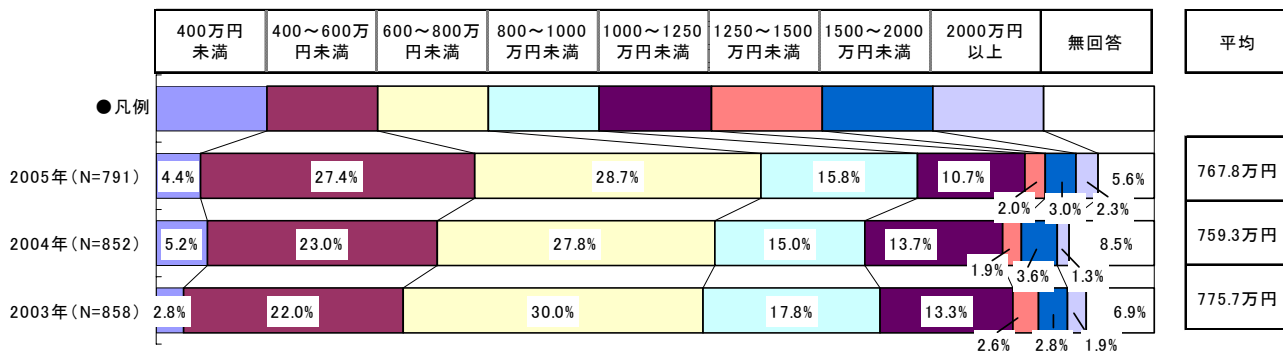
■居住エリア(全体/単一回答)



■世帯主年齢(全体/単一回答)



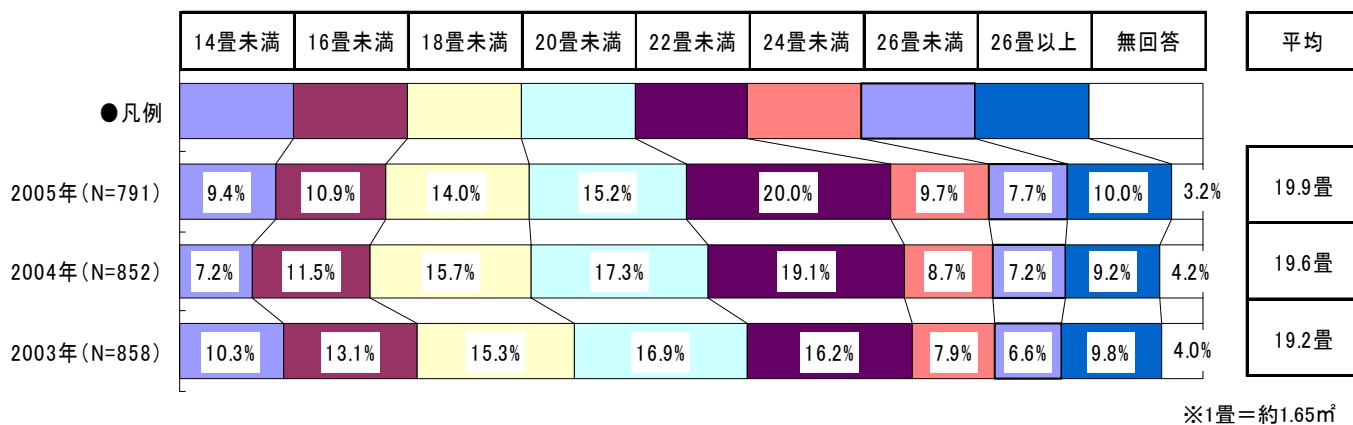
■世帯年収(全体/単一回答)



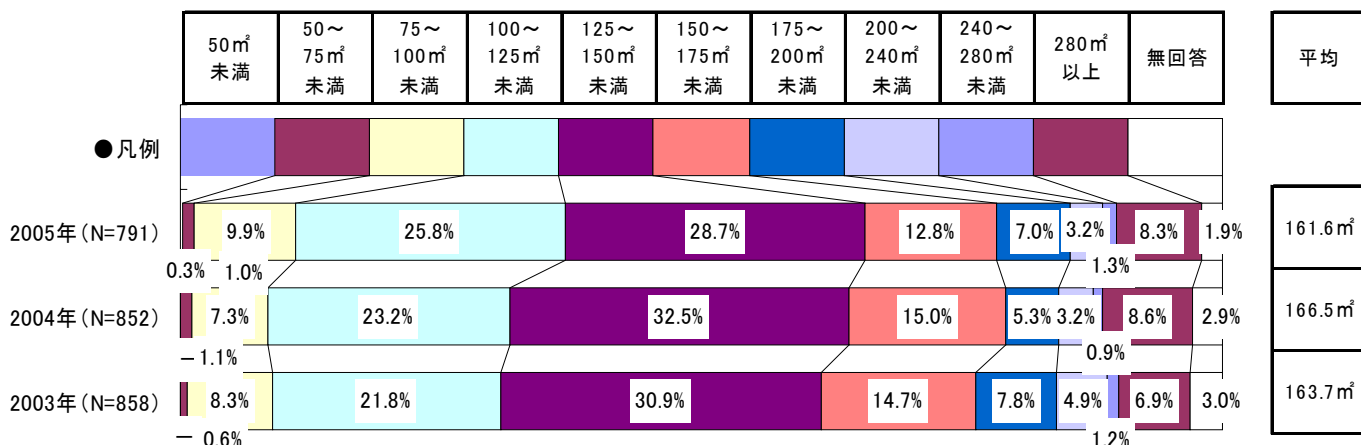
**LDKの広さは平均19.9畳。この3年間では広くなる傾向にある。
延べ床面積は平均で161.6㎡。昨年より狭くなった。**

- LDKの広さは、この3年間では広くなる傾向にあり、20畳以上の割合が増加している。
- 延べ床面積は、最も割合が多い「125～150㎡未満」が昨年より減少し、反対に「100～125㎡未満」の割合はこの3年間では増加傾向にある。

■ LDKの広さ(全体/単一回答)



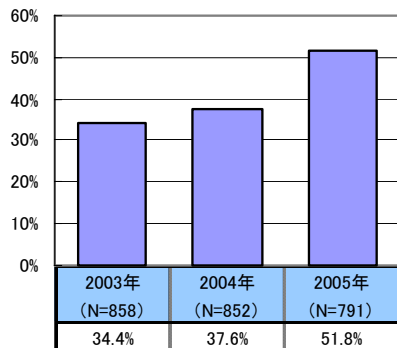
■ 延べ床面積(全体/単一回答)



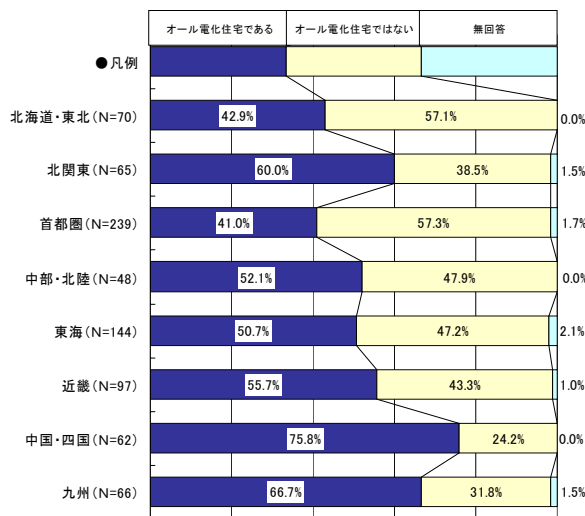
オール電化住宅の普及度はここ3年間増加を続け、今回は50%を超える。
エコキュートの普及度は、2年前の2.5倍に上昇。

- オール電化住宅の普及度は、ここ3年間増加を続け、今回調査では51.8%まで上昇した。
- エコキュートの普及度もここ3年間増加傾向が続き、2年前の14.8%から今回調査では37.0%まで上昇した。
IHクッキングヒーターの普及度も63.5%で、前回調査から増加した。

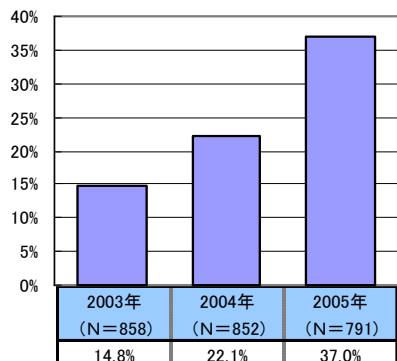
■オール電化住宅の普及度(全体/単一回答)



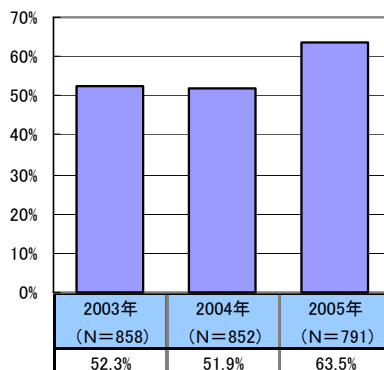
■オール電化住宅の普及度:居住エリア別(全体/単一回答)



■エコキュート(自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機)の普及度(全体/単一回答)



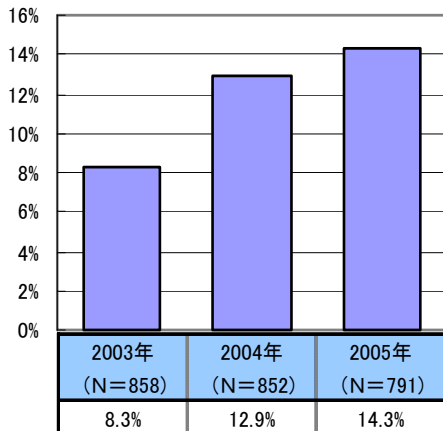
■IHクッキングヒーターの普及度(全体/単一回答)



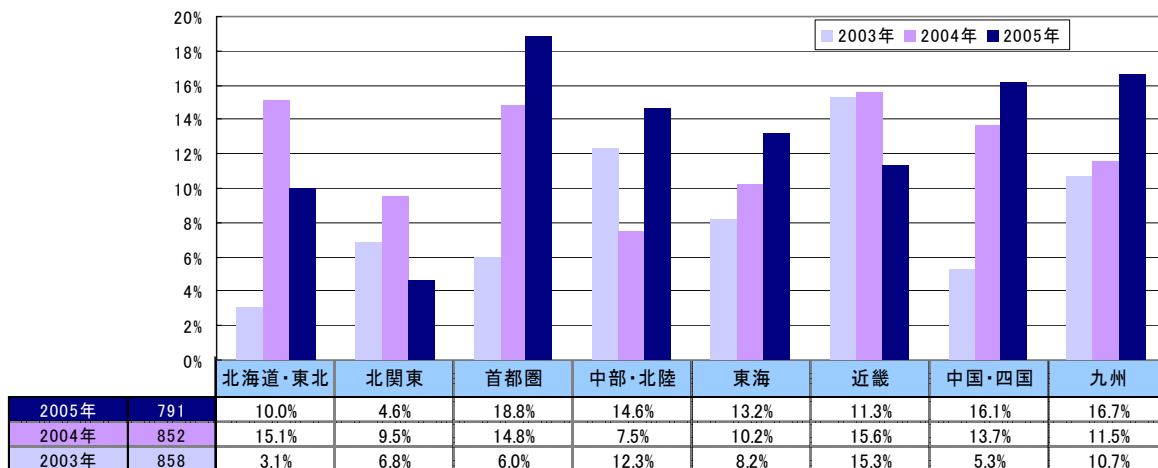
ホームセキュリティの普及度はここ3年間増加を続け、2年前の1.7倍に上昇。
エリア別では、首都圏が最も高く約18%。

- ホームセキュリティの普及度はここ3年間増加傾向が続き、2年前の8.3%から今回調査では14.3%まで上昇した。テレビドアホンの普及度も80.5%で、ここ3年間増加傾向が続く。
- ホームセキュリティのエリア別普及度は、「首都圏」が最も高く、「九州」「中国・四国」「東海」でも増加傾向が続く。

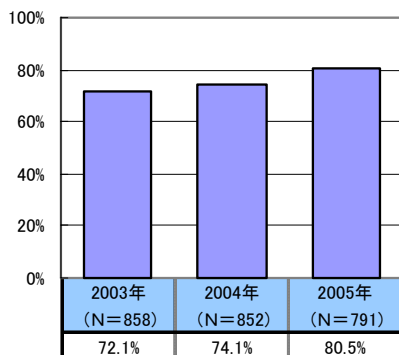
■ホームセキュリティの普及度(全体/単一回答)



■ホームセキュリティの普及度:居住エリア別(全体/単一回答)



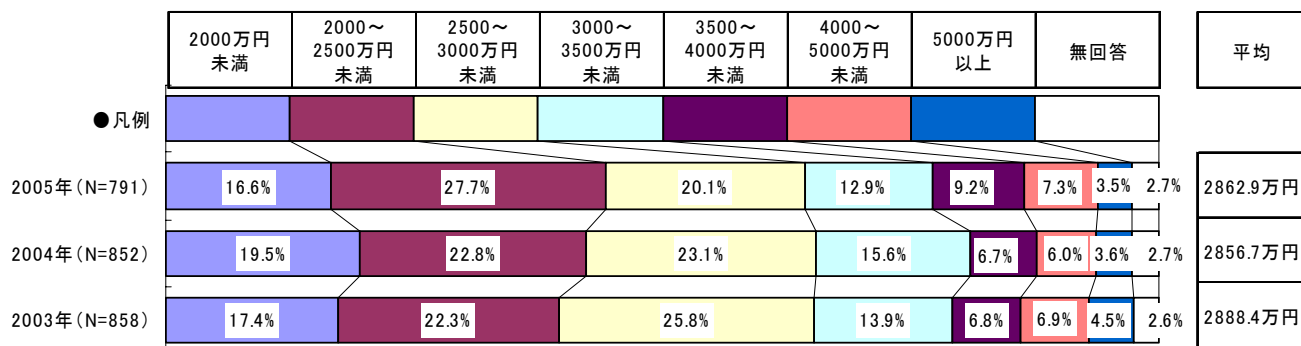
■テレビドアホンの普及度(全体/単一回答)



総建築費用のボリュームゾーンは、ここ3年間で 2000万円台後半から2000万円台前半にシフト。

●総建築費用は、ここ3年間「2500～3000万円」の割合が減少している一方、「2000～2500万円未満」の割合が増加傾向にある。

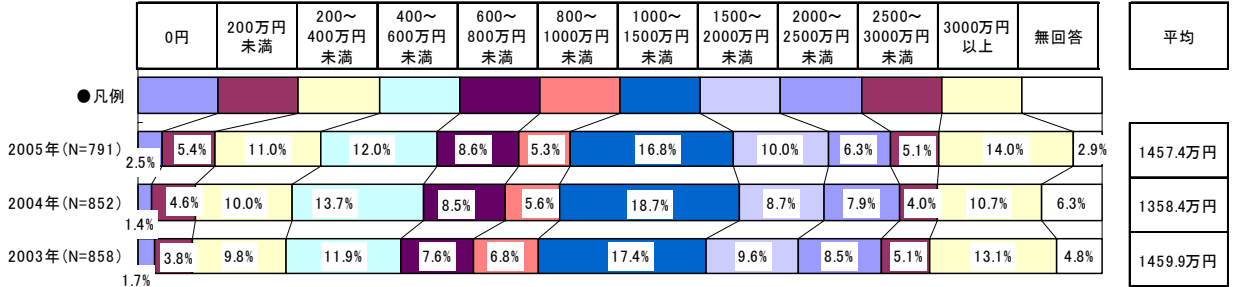
■総建築費用(外構費を含む、消費税込み金額)(全体/単一回答)



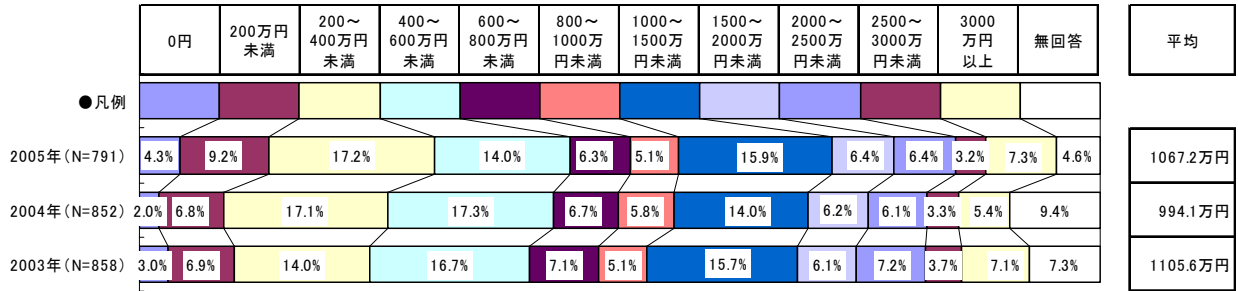
※2003、2004年度は、消費税抜きの費用を集計していましたが、本報告書では消費税込みの価格となるように補正を行っています。

●自己資金額は、1000万円未満の割合がここ3年間増加傾向にある。

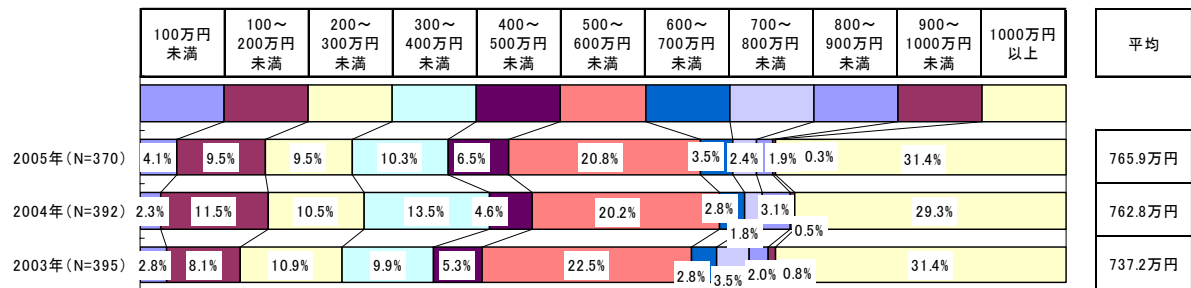
■自己資金額(全体/単一回答)



■単独自己資金額(全体/単一回答)



■親からの援助額(親からの援助があり、金額の記入があった人/単一回答)



■各融資の利用率(全体/複数回答)

